

32社がラブコール

高校生対象に
地元定着へフェア

丹波篠山市の将来を担う若者の地元への定着を図ろうと、市内高校に通う生徒に地元企業の魅力を紹介する「高校生対象企業紹介フェア（丹波篠山幸せしごとフェア）」が4月24日、丹波篠山市民センターで開かれた。32事業所が参加し、就職を希望する篠山産業高校



会社のPR画像をモニターに映しながら高校生にプレゼンテーションする企業の担当者＝丹波篠山市黒岡で

3年生65人と、篠山東雲高校2、3年生25人の計90人が出席した。事業所ごとにブースが設けられ、企業の担当者が、グループで巡回する学生と対面し、会社概要や強みの

を熱く伝えていた。生徒たちは1社20分間で希望する3社を巡回。企業の担当者は、「学歴・性別に関係なく、頑張れば昇進できる」「福利厚生が手厚く、休日もしっかり取れる」など伝え、「わが社には若い力が必要。ぜひ会社見学にも来て」などとラブコールを送っていた。熱心にメモを取りながら聞いていた東雲高2年の

さん（篠山中

2024年5月2日

丹波新聞

出身）は、「市内にどんな企業があり、どんな仕事をしているのか詳しく知ることができた。地元就職もいいなと感じている」と話していた。産業高校では昨年度、卒業生136人中62人が就職、うち15人が市内就職した。東雲高校では18人が卒業し、就職が8人、うち市内就職が5人だった。